

台湾・李登輝氏の5月訪日を容認...政府方針

<http://www.yomiuri.co.jp/politics/news/20060223i401.htm>

政府は22日、台湾の李登輝・前総統が希望している5月の訪日を認める方針を固めた。

李氏を「台湾独立派」と見る中国の反対に配慮し、政治的活動はしないことを求める考えだ。ただ、過去2回の訪問では認めなかった講演は、政治問題に触れないことを条件に容認する方向だ。

台湾からの短期滞在の観光客については、政府は昨年3月以降、査証(ビザ)を免除しており、李氏もビザなしの来日となる。

李氏は仙台や秋田など東北地方を回り、松尾芭蕉の「奥の細道」ゆかりの地を訪問したいとの意向を示している。首都・東京への立ち寄りも希望している。

政府は中国を刺激しないよう、事前に日台間で協議し、李氏に入国の条件を課すことにしている。ただ、総統退任後、5年以上が経過していることもあり、これまでの来日時より、行動の自由を認める考えだ。

具体的には、1 首相、閣僚や国会議員との面会は認めない 2 講演は、文化、歴史などをテーマにしたものに限って容認 3 東京訪問も認める 方針だ。

(2006年2月23日3時5分 読売新聞)